

# 図書案内

2024年 2月号

## 恋愛

2月のビッグイベントといえばバレンタイン。バレンタインといえば恋愛、ということで今月のテーマは「恋愛」です。人肌恋しくなるこの季節、心温まるお話はいかがですか？日々の生活が物足りないと感じている方には、情熱的な愛の物語もおすすめです。寒い冬に心の際間をそっと埋めてくれる、様々な恋や愛の世界をぜひお楽しみください。

### 『愛の手紙の決めゼリフ ～文豪はこうして心をつかんだ～』

／中川越

大切な人へ、愛する妻へ、はたまた別離する相手へ・・・  
文豪や芸術家たちは手紙によって思いを伝えましたが、その表現方法や相手は様々です。本書では人生の大切な場面で彼らがどのように思いを伝えたのか、背景説明とともに紹介しています。手紙から読み解く文豪たちの人柄や、愛する人にだけ見せた意外な一面を知れば、また一段と彼らの魅力に引き込まれること間違いなし。文学が大好きな人も、あまりよく知らないという人も、この本を読んで彼らの新しい一面を発見してみてください。

話したいことよりも何よりも ただ逢うために逢いたい。  
(竹久夢二の恋文より)



### 『植物図鑑』／有川浩

植物図鑑。題名だけだと、図鑑・・・？と思う人も多いと思いますが、図鑑ではなく「恋愛」小説です。ただ、普通の小説よりもたくさんの植物が登場し、植物を軸に物語が展開します。読み終わった後は「雑草」（という名の草はありませんが）が美味しそうに見えるはず。作中に登場した料理の一部は巻末にレシピがついているのも再現するのも楽しいかもしれません。チョコレートのように甘く、少しだけ苦い。でもやっぱり甘い。読み終わったころには散歩と恋愛がしたくなるような本です。

雑草という名の草はない。草にはすべて名前がありますーって昭和天皇は仰ったそうだよ

### 『この気持ちもいつか忘れる』／住野よる

平凡な日々を飽き飽きしながら暮らす高校生の香弥が、爪と目だけしか見えない謎の少女のチカと出会います。美しく光る瞳でチカが話したことは信じられないことでした。どうやら彼女は異世界の住人だということです。香弥はそんな「特別」な存在のチカと過ごしていくうちに、彼女に心を動かされていきます。「特別」を信じない少年と「特別」な存在の少女の物語です。出会いと別れが近づくこの季節に、ぜひ読んでみてください。

俺が心の中に思い浮かべることが出来るのは、全てただの事実過ぎなかった。あの時の想いの強さを、重さを、激しさを。



### 『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』／汐見夏衛

周囲の空気を読み、優等生を演じる女子高生・茜は、辛い現実と直面して疲れ切っていた。しかし、最初は苦手感じていた、自分とは正反対の自由奔放で絵を描くことが好きな男子生徒・青磁と関わることで、本来の自分を取り戻していき、お互いに惹かれていく…。読み終えたあなたは、きっと朝焼けを見に行きたくなるだろう。

美術館中の人たちが私を見ている気がした。私の醜い素顔をみんなが見ている気がした。でも、いい。青磁が私を見てくれるなら、誰に見られたっていい。



## バレンタインデーって何をするの？

皆さんはバレンタインの起源を知っていますか？ここでは一説を紹介します。時はさかのぼり5世紀、当時の皇帝であるクラウディウス2世はローマ軍の士気が低下するという理由で兵士の結婚を禁止していました。しかし、ヴァレンティノは若い恋人の願いを聞いて、秘密裏に多くのカップルを結婚させました。それが発覚し、皇帝の怒りに触れて投獄、処刑されてしまいます。その日がヴァレンティノの殉教日、今のヴァレンタインデーの2月14日です。そして14世紀ごろには愛に尽くしたヴァレンティノにちなみ愛を告白する習慣が生まれました。

日本ではバレンタインデーの日には女性から男性にチョコレートなどを贈りあうのが一般的ですが、外国では何をするのでしょうか。アメリカでは女性から男性へ、男性から女性へ、双方向に贈り物をするのが一般的です。また、欧米では感謝を伝えるという意味合いが強く、ホワイトデーや義理チョコの習慣はないそうです。

男性も女性もバレンタインデーという機会に思いを伝えたり、大切な人に感謝を伝えたりしてみたいでしょうか？（参考文献：浜本隆志『バレンタインデーの秘密 愛の宗教文化史』平凡社）